

第5回「万葉集・明日香村」を中心とした授業づくりセミナー 概要報告

大西 浩明

◇日 時 2026年1月24日（土）10:00～12:00

◇場 所 県立万葉文化館

◇参加者 【学生・院生】勝田、田中、東

【現職教員】藏前（王寺北義務教育学校）、平井（大三輪中学校）

【万葉文化館】井上、中本、榎戸

【大学教員】加藤、米田、大西 計11名

◇内 容 学習指導案の検討、卒論報告、実践報告

1) 学習指導案の検討 勝田南美さん（国語教育専修3回生）

「みりょく発見！『万葉集』」（小学校6年：国語科）

前学年までに百人一首で遊んだ経験

→ 五音七音のリズムへの親しみ

「万葉集って何だろう？」自分で調べる 万葉カルタ遊ぶ

万葉集の歌を鑑賞する 万葉カルタの中から一首選び、現代語訳、内容、背景などについて調べる

万葉集の魅力を考える 万葉集をモチーフにしたものがいろいろある

（現代につながっている）

万葉文化館の方のお話を聞く

特徴的な歌、歌人、長歌や旋頭歌、万葉画、万葉仮名など

魅力を発信する 万葉画を描く（ポストカードに）、万葉カルタ大会の開催、和歌の解説書 など
（意見交流から）

・百人一首と万葉集の違いを考えることから始めてもいいのでは。

作成された時代が違うので、時代が違えば言葉の使い方も違ってくる。その方が子どもは考えやすいかもしれない。

・万葉集の特徴として長歌を扱いたい。（百人一首と大きく違うところもある）

・長歌は読んでみると面白いし、いろんな歌があるという万葉集の多様性にも触れられる。

・多様性で言うと、いろんな地方の歌があるということもそうである。

・自分たちの地域のことを詠った歌を調べさせる方がいいのでは。長野県には歌碑も多い。

・万葉画を描くというのはとてもいいと思うが、子どもにとっては歌のどこを切り取って描くかは難しいかもしれない。

・最後の成果物はグループで一つでいいかも。

絵を描く子、文字を書く子、読みあげる子など役割分担できる。

QRコードを付けて、読み込むと音声が流れるようにすれば。



2) 卒論報告 田中愛花さん（国語教育専修4回生）

「万葉集を取り上げた教材及び授業実践についての研究 —ESDの理念に照らして—」

万葉集に内包する ESD 的価値観や視点を見出しつつ、これまでの万葉集の授業実践を ESD の視点

から捉え直し、新たな授業構想を行う。

多様性を学び取れる手立ては、万葉集の詠み人の身分の幅が広いという特徴や北海道と沖縄県を除く日本各地に万葉歌があるという特徴を活かしてそれぞれの立場で読まれた歌を比べる活動や、それぞれの場所で読まれた歌を比べる活動が有効であろう。

クリティカル・シンキングを育むための手立ては、万葉集が歴史的にどのように受容され、どのような意図のもとに利用されてきたかという「教材史」を学習者に知らせる活動が効果的であろう



本研究を通して明らかになったのは、国語科における万葉集の授業が、もともと ESD の理念と接続し得る視点や価値観を内包しているという点である。さらに、そのような視点を意識的に位置付けることで、既存の実践を基盤としながら、ESD の観点からより発展的な授業構想の可能性を提示することができた点に、本研究の意義があると考える。(発表資料から一部抜粋)

(意見交流から)

・多様性について述べるとしたら、例えば言語学的な多様性という視点があってもいいのでは。

古典文法、拍などに視点をあててもいい。

・「仮名のない時代に漢字という外国語を用いて作られた」ということも「多様性」ではないだろうか。

・万葉集を ESD の視点で論じること自体、とても意義深いことだと思うので、継続して取り組んでもらいたい。

3) 実践報告 藏前拓也先生 (王寺町立王寺北義務教育学校)

「だるまさんがころんだ！ 一だるま発祥の地（達磨寺） わたしたちのまち王寺町ー」(小4 総合)



体育館で学年全員の「だるまさんがころんだ」をやる

→ 「校区にある達磨寺と関係が？」

「なぜ王寺町は、だるま発祥の地と言われているのだろう？」

達磨寺へのフィールドワーク 町の観光ボランティアガイドの方に協力してもらう

- ・聖徳太子と達磨大師の出会い
- ・歌を詠み交わしたとされる「問答石」
- ・聖徳太子の愛犬「雪丸」
- ・古墳が斑鳩につながっている？
- ・境内での「だるまさんがころんだ」

達磨寺について詳しい帝塚山大学の先生との出会い GT に来ていただく

家族に達磨寺の話を聞いても、誰も知らない → 王寺町の多くに人に知ってほしい

「だるまプロジェクト」発進！

・だるまマーケット（達磨寺で月1回日曜日に開催）でのブース出展

・「だるまさんがころんだ選手権」への参加 など、現在も進行中

万葉文化館の方に来ていただきて、万葉集についてお話を聞く

「歌」とは？ 万葉集の基礎的な説明のほか、数え歌や万葉仮名などの話を聞く

浦島の話に子どもたちが興味を抱く